

公表:令和 2年 3月 31日

事業所名 放課後等デイサービス まかろん

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標
環境・ 体制 整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	2			
	② 職員の配置数は適切であるか	5	2		・利用者様が楽しく安全に過ごせるよう、基準よりも多い人員を配置させて頂いております。 ・NSCも常勤で配置しております	
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	3	1		・今後の利用児童に合わせ検討・実践していきます。
業務 改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3	3	1		・PDCAを職員が理解できるよう、社内研修等で伝えてまいります。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	2	5			・役職関係なく話しやすい関係作りをし、職員一同真剣に対応させて頂いております。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	2	3	2		・HPにてH31.3月より公開している。 ・回覧にて職員にも公開をお知らせいたします。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	3	3		・今後第三者による外部評価の体制作りを進めていく。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	2	4	1		・随時、勉強会・研修会の案内を回覧にて配布している ・研修に参加する時間を作ってあげられていない現状
適切 な支 援の 提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	1			・相談室・学校とも連携し統一した支援を目指し、担当者会議等も頻繁に行わせて頂いております。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	1	5	1		・利用児童の幅が広いため標準化は難しいが、検討しより良いものを作成していきます。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	1			・特定の職員に任せるのではなくチームで立案している。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	4			・その日の利用者様のレベルにあった活動を、チームで考えおこなっております。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	2	5			・出来る限りきめ細やかに設定しているよう努める。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7				・広く職員が参加して、当該の計画を作成するように努める。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7				・出勤職員全体で意識を共有し、その日の役割などを確認している。

	⑩⑥	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	4		・その日の振り返りなどを、日報・翌日の打ち合わせで共有している。
	⑩⑦	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	2		・職員全体で意識を共有しながら実践している。
	⑩⑧	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	2		・児発管を中心に行い、ミーティングで職員に周知しております。
	⑩⑨	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか		7		・今まで以上に勉強会等で周知するよう努めます。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑩⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	2		・児発管を中心に行っている。
	⑩㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6	1		・児発管を中心に行っている。
	⑩㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	3		
	⑩㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	4	1	
	⑩㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	3		・出来る限り連携し情報を提供するよう努めております。
	⑩㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	4		児発管を中心に行っている。
	⑩㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		4	3	障がいのない子供たちと活動する機会をもつよう努める。
	⑩㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		6	1	・積極的に参加するよう努めていきます。
	⑩㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7			・送迎時等の保護者様と関わりのある時に、情報交換し、共通理解を持つよう努めている。
	⑩㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	4	1	・事業所・自宅・学校を通して支援を行えるよう、しっかりとした関係を築けるよう努めている。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	3		・見学・契約等で丁寧に分かりやすく説明させて頂いている。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	1		・関係機関と連携し、出来る範囲で支援・助言させて頂いている。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		6	1	・仕事が忙しく中々集まって頂けないが、集まる機会を作らせて頂いている。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	1		・利用契約書などを通して、苦情の対応窓口や体制について周知して頂き、適切に対応させて頂いている。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	1		・毎月の通信・HPにて活動等を見て頂いている。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	7			・個人情報の取り扱いについて、職員間でも確認している。
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	1		・必要とされる合理的配慮の充実に努めている。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		5	2	・地域に開かれた事業のより一層の充実を図る。
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	4		・当該マニュアルの内容を保護者にも周知するよう努める。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	2		・毎年定期的実践している。
	④⑰	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	2	4	1	・研修を受け共通の意志のもと支援に努める。
	④⑱	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	3	1	・身体拘束を行う個別具体的な場合を体制的、組織的に決定する事には至っていない。
	④⑲	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	4	1	・保護者様にお伺いし、十分の注意をし提供させて頂いている。 ・必要に応じて確認しております。
	④⑳	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	3	1	・ヒヤリハット・事故報告書の作成と日報にも記載しミーティング等で全員が周知し、安全な支援が出来るよう努めている。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。